

決算特別委員会にて質疑

「より県民生活に密着した税の使い方」を求める

神奈川県議会議員 石川ひろのり

今月4日まで県の令和3年度決算特別委員会が開かれ、私は「東京オリムピック・パラリンピック大会関連事業」について質疑を行いました。

○検証されていない

県内経済波及効果

質疑の中で、事前キャンプ誘致など大会関連に県税約89億円が使われた

と答弁がありました。県は、大会前に観光などの産業振興UPなど経済へ大きな波及効果があるとしていました。しかし、大会は無観客開催となり、最終的な県内経済波及効果、費用対効果を確認したところ「検証していない」との答弁でした。私は県税89億円を使

いながら、検証もしていない点を強く指摘し、費用対効果を県民にしっかりと説明すべきと強く求めました。

○外国人観光客誘致事業

県は、外国人観光客誘致のため、大会前に観光コース1000本を用意し、その後も2年間で約1億円を使い、誘致のため

のホームページ（HP）を維持してきました。観光コースに対し、私はこれまで量より質を求めるときと提案を続けてきました。現在、そのHPを確認すると、古く

なったコースは削除され872本となっており、内容のリニューアルも委託業者任せとなっている点を指摘し、コース作成はプロである旅行会社等の民間業者に任せるなど、事業の見直しを求めました。

○県民生活に密着した事業を

私は費用対効果を明確にし、税の用途を経済的困窮世帯への支援や急傾斜地対策等の県民生活に密着した事業へ優先するよう提案しています。ぜひ、皆さまのご意見・ご要望をお寄せ下さい。



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり事務所

麻生区百合丘1-5-4

米山ビル202

☎044-455-6611

☎044-455-6614

☎044-455-6614

☎044-455-6614

☎044-455-6614

☎044-455-6614

☎044-455-6614